

「PF ニュース」からのお知らせ

平成 24 年度の PF-UA の発足に伴い、PF ニュースはウェブが主体となりましたが、引き続き冊子版も発行し、ご愛読を賜り感謝致します。今後も新しい企画記事の連載など誌面の充実につとめ、PF ニュースをより魅力あるものにしていきます。PF ニュースウェブページには、冊子版では白黒となっている図等もオリジナルのカラーのものを掲載しています。ウェブ版もお楽しみ頂ければと思います。

ウェブ掲載時にはメールでお知らせするシステムも運用しています。希望される方は、どうぞご登録下さい。PF ニュースウェブページにフォームを掲載しています。

PF ニュース編集委員一同

投稿のお願い

【最近の研究から】

PF で行われた実験、研究の成果をお寄せ下さい。

【建設・改造ビームラインを使って】

特にビームラインの改良点、他のビームラインとの比較、要望等を是非お聞かせ下さい。

【ユーザーとスタッフの広場】

PF での実験の成果等が認められ受賞された方、海外放射光施設に滞在、訪問された方、国際会議等に参加された方、修士論文等、どうぞご投稿下さい。また PF に対するご意見等がありましたら是非ご投書下さい。

詳細は事務局または PF ニュース HP をご覧下さい。

宛 先

〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1
高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所 放射光実験施設内
PF ニュース編集委員会事務局
TEL : 029-879-6196 FAX : 029-864-2801
Email : pf-news@pfqst.kek.jp
URL : <https://www2.kek.jp/imss/pf/pfnews/>

編集後記

この編集後記を書いている 10 月現在、漸く夏から続く暑さがおさまり、秋の涼しさを感じられるようになりました。私は某大学の化学系学科に所属しておりますので、夏季休業期間が終わって秋学期の講義が始まる 10 月はキャンパスに活気が戻るのを実感します。今年は 12 月初旬に PF のビームタイムをいただけたので、現在は測定に向け、学生たちと協力してサンプルの検討を行なっております。私は修士課程の 1 年目に初めて放射光施設での測定を体験して以来、毎年放射光実験を行なっていますが、やはり超大型実験施設で測定を行う非日常感溢れる楽しさは色褪せないものであると実感します。願わくは研究室の学生にも同様な感動を覚えてほしいと思っています。

さて、PF ニュースの外部編集委員に加えていただけてから今年で 2 年目となりました。委員会の会議に参加しますと、放射光および粒子線を用いる測定技術の応用例が非常に多岐に渡っており、これら測定技術が最先端の科学を支えているということを再認識します。特に、自分の専門分野外の領域で放射光・粒子線を利用してどのように研究が展開されているかを知る良い機会となりました。私も他の PF ユーザーを触発するような研究を展開できるよう努力していきたい所存です。(S.H.)

* 2024 年度 PF ニュース編集委員 *

委員長	小澤 健一	物質構造科学研究所		
副委員長	高橋 真	JFE テクノリサーチ株式会社		
委員	宇佐美徳子	物質構造科学研究所	川端 庸平	酪農学園大学 農食環境学群
	熊井 玲児	物質構造科学研究所	佐賀山 基	物質構造科学研究所
	鈴木真粧子	群馬大学 大学院理工学府	高木 宏之	加速器研究施設
	武田 崇仁	広島大学 先進理工系科学研究科	永田 隆平	名古屋大学 大学院生命農学研究科
	長谷川慎吾	横浜国立大学 大学院工学研究院	引田 理英	物質構造科学研究所
	平川 力	産業技術総合研究所	山下 翔平	物質構造科学研究所
	山根 峻	東北大学 金属材料研究所	和田 健	物質構造科学研究所
事務局	高橋 良美	物質構造科学研究所		
	加世田 薫	物質構造科学研究所		